

## 若年者版キャリア交流プラザ事業(市場化テストモデル事業(18年度))に係る実績評価について

市場化テスト評価委員会

### 1 事業概要について

的確、円滑な就職のための支援の必要性が高い若年求職者を対象として、求職活動に有用な知識等の付与、経験交流、キャリアコンサルティング等職業紹介事業を含む一連の幅広い就職支援に関わる事業を集中的に実施し、これらの者の再就職の促進を図る若年者版キャリア交流プラザ事業について、公設民営方式により、市場化テスト(モデル事業)の対象として実施。

(1) 実施箇所 大阪

(2) 事業の期間

平成18年6月から平成19年5月まで(就職状況のフォローアップ業務については9月まで実施)

(3) 支援対象者

支援対象者数、コース設定については次のとおり。

25人規模、44期(概ね月4期)

コース設定については、次の①～④の35歳未満の求職者を対象に受託事業者が設定。

- ① 職業経験、能力等に適合しない職種、労働条件に固執する等、就職のためには、自己の能力、適性や労働市場の実情等について正しい理解、認識をさせることが必要な者
- ② 短期の離転職を繰り返す等、本人の希望する安定した就職を実現するためには、離転職を繰り返すことになった原因を分析、理解した上で、求職活動を行うことが必要な者
- ③ 離職をめぐって精神的なダメージを受けた者等、意欲的かつ自信をもって求職活動が行えるよう、心理的なケアや勇気づけ等が必要な者
- ④ これまでパート、アルバイトの就業経験しかない者等、本人の希望する正規雇用で就職、定着するためには、就職活動に係る基本的心構え・技法の習得、コミュニケーション能力の向上等が必要な者

(4) 支援の内容

- ① セミナー、ガイダンス(就職活動に係る基本的心構え・技法の習得、コミュニケーション能力向上等)
- ② 経験交流(登録者相互の情報交換、グループカウンセリングやグループでの共同作業を通じた基礎的能力等の向上支援、相互の心理的なサポート等)
- ③ キャリアコンサルティング(自己・労働市場の理解の促進等)
- ④ 職業適性検査・興味検査等の実施による就職の方向付けの支援
- ⑤ 職場見学、体験機会の提供
- ⑥ 求職者に対する無料の職業紹介その他の就職支援

(5) 提供されるべきサービスの水準

就職支援開始後6ヶ月時点における就職率(支援対象者のうち雇用保険被保険者資格を取得した者及び自営を開始した者の割合)55%以上を目標

## 2 受託事業者の概要について

(株)東京リーガルマインド

本社 東京都千代田区大手町2-1-1

設立 昭和54年1月

主な業務内容 教育、学習支援業

落札価格 36,033,900円

企画書に掲げた目標 就職数715名 就職率 65%

利用者の満足度 全体の90%

その他受託事業者設定目標

独自求人案件獲得数 2,000件

独自求人案件獲得総人数 5,100人分

独自求人案件紹介割合 80%

事業所・利用者満足度調査回収率 100%

求職者へのプラザ参加勧奨 20%

## 3 評価方法等について

評価指標については、同事業の仕様書において、

- ① 支援開始後6ヶ月までの間における就職件数(就職経路別内訳(安定所紹介、受託事業者紹介、その他など)を含む)、就職率
- ② 定着状況
- ③ 利用者の満足度等
- ④ 事業の運営に要した経費(落札額及び実際に要した経費)を掲げている。

※ 評価の対象となる就職は、

- ① 雇用保険被保険者資格を取得したもの(支援の開始から満7ヶ月となる日の属する月の末日までに取得したもの。)
  - ② 自営を開始したもの(受託事業者が自ら雇用した場合を除く。)
- なお、トライアル雇用による就職は、トライアル雇用を経て常用雇用へ移行した段階で就職とみなす。

## 4 実績について

事業の実施結果については、別紙1～3のとおりである。

### (1) 就職状況

就職率については44.3%となっており、事業者が自ら設定した目標(65%)及び提供されるべきサービスの水準として掲げていた目標(55%)を達成していない状況にある。

前年度(17年度モデル事業モデル事業。以下同じ。)との比較では、0.6ポイントの低下となっている。

## (2) 定着状況

支援開始から満9ヶ月となる日までの雇用又は自営の継続状況(※)をみると77.2%となっている。これは前年度との比較では、3.7ポイントの低下となっている。

また、定着状況を勘案した就職率(支援開始後9ヶ月時点においても継続している就職又は自営した者の割合)については、34.2%となっている。これは前年度との比較では、2.2ポイントの低下となっている。

なお、支援対象者の属性等の条件が異なるため、単純に比較した評価は困難であるが、中高年を対象として実施しているキャリア交流プラザ(国実施地域平均・民間実施地域平均)と比較すると、定着状況については、国実施地域平均(76.6%)・民間実施地域平均(76.3%)と同水準、定着状況を勘案した就職率については、国実施地域平均(44.6%)・民間実施地域平均(39.6%)に比して低い傾向にある。

※ 雇用については、雇用保険被保険者資格が喪失されることなく継続していることを確認することにより、また、自営については、管轄のハローワークが電話で確認することにより把握したものの。

## (3) 利用者の満足度(アンケート調査結果から)

若年者版キャリア交流プラザ事業を利用した者の満足度等を把握するため、支援対象者及び支援対象者を採用した事業所に対するアンケート調査を実施した。支援対象者に対しては、すべての者を対象として、受託事業者が郵送調査を実施した。採用事業所に対しては、ハローワーク又はキャリア交流プラザ(受託事業者)の紹介により支援対象者を採用した事業所に対し、支援対象者を紹介した機関が郵送調査した。

プラザで受けたサービスに対する満足度については、満足(「大いに満足」「どちらかと言えば満足」の合計。以下、同じ。)が69.0%、どちらとも言えないが19.9%、不満(「どちらかと言えば不満」「大いに不満」の合計。以下同じ。)が11.0%となっており、事業者自ら設定した目標満足度90%の目標を達成していない状況である(割合は未回答を除くもの。以下同じ。)

個別の支援の満足度をみると、

- ① セミナー・ガイダンスについては、「十分だった」という者は85.9%となっている。
- ② 経験交流については受けなかったという者が75.8%であり、「十分だった」という者は19.9%となっている。
- ③ キャリアコンサルティングについては、「十分だった」という者は69.6%となっている。
- ④ 職業紹介については受けなかったという者が57.6%であり、「十分だった」とする者は26.7%となっている。(その他の主な結果については〔参考〕を参照。)

## (4) 要した経費

若年者版キャリア交流プラザ事業を実施するに当たって要した経費として

委託費から算出すると、就職1件当たりの経費は7.5万円、定着就職1件当たりの経費は9.7万円である。前年度との比較では、就職1件当たり経費が2.1万円減（前年度比21.9%減）、定着就職1件当たり経費が2.1万円減（同17.8%減）となっている。

また、支援対象者の属性や支援対象期間、支援対象規模等が異なるため単純に比較した評価は困難であるが、中高年を対象として実施しているキャリア交流プラザ（東京（民間実施地域）・大阪（国実施地域））と比較すると相対的には低い状況にある。

#### 〔参考〕

上記以外の利用者のアンケート調査の結果については次のとおりである。

##### （就職経路）

就職経路については、ハローワークの紹介が29.7%、キャリア交流プラザ経由（受託事業者による紹介）での就職した者は9.0%となっている。

##### （就職の質）

賃金水準については、増加が40.4%、変わらないが18.3%、減少が41.3%となっている。雇用形態については、「正規の社員・職員」が40.6%、「雇用期間の定めがない」が63.6%となっている。

現在の雇用形態等、賃金その他の満足度をみると、満足が48.5%、どちらとも言えないが26.9%、不満が24.6%となっている。

事業所のアンケートの結果については次のとおりである。

採用決定理由は、「仕事に対する意欲」及び「仕事や働くことに関する目的意識」がいずれも31.4%と最も高く、82.4%の対象者が職場に採用後定着しているという状況にある。

## 5 総 評

事業実績を総括すると、事業者自ら目標を設定している就職状況又は利用者の満足について、いずれも目標が未達成な状況にある。

その就職状況については、対象者の属性、支援期間は異なるので単純な比較は難しいが、中高年を対象として実施しているキャリア交流プラザの実績（民間実施地域平均（51.8%）・国実施地域平均（58.3%））に比して総じて低い状況となっている。定着状況を勘案した就職状況も、キャリア交流プラザの実績（民間実施地域平均（39.6%）・国実施地域平均（44.6%））に比して低い状況となっている。

コスト（就職1件当たりに要した経費等）については、対象者の属性、支援期間、支援対象規模が異なるので単純な比較は難しいが、中高年を対象として実施しているキャリア交流プラザの実績（東京・大阪）に比して総じて低い状況にある。

一方、利用者のアンケート結果をみると、セミナー・ガイダンスやキャリアコンサルティングに対する満足度は高いが、経験交流については受けない若者が7割以上も存在しており、若年求職者の就職支援に必要な（期待される）サービス内容と提供されるサービスに開きがあるものと思われる。

以上のように、当該事業については、平成17年度実施事業に係る評価と概ね同様の評価結果となっており、就職実績も低調であること、キャリア交流プラザの支

援メニューのひとつである経験交流（多人数を対象にした支援者同士による意見交換・情報交換等）については職業経験が少ない若者が多い中では若者の就職支援ニーズとは必ずしも一致しないものであり、受講せずに就職している者も多いと考えられること、セミナー・ガイダンスやキャリアコンサルティングについては若年者のためのワンストップサービスセンター（ジョブカフェ）やハローワークにおいても既に実施されており、代替可能であること等から、平成18年度をもって当該事業は終了するものである。

1 若年者版キャリア交流プラザ事業(18年度市場化テストモデル事業)実績

※特段の標記がないものの単位は、人。

定員数	送り出し数	支援開始者数 (A)	就職+自営(B)				①就職率(B/A)	②定着率(C/B)	定着就職率 (①*②)
			就職件数	自営	うち支援開始日から満9ヶ月となる日まで雇用又は自営が継続されている者(C)				
1,100	1,828	1,090	483	482	1	373	44.3%	77.2%	34.2%

2 若年者版キャリア交流プラザ事業(18年度市場化テストモデル事業)経費

定員数	支援開始者数	就職+自営		事業実施費(単位:万円)			
		うち支援開始日から満9ヶ月となる日まで雇用又は自営が継続されている者		委託費	就職促進費	就職1件当たり経費	定着就職1件当たり経費
1,100	1,090	483	373	3,603.4	0	7.5	9.7

## 若年者版キャリア交流プラザ事業 利用者アンケート調査結果（確定値）

支援開始者数	1,090
回収率(%)	22.3%

## 質問事項

●プラザ利用直前に勤務していた企業の正社員数	
30人未満	28.7%
30人～100人未満	18.3%
100人～300人未満	19.1%
300人～1,000人未満	17.8%
1,000人以上	16.1%
●就職状況	
就職している	53.5%
就職したが、離職した	10.4%
自営業を営んでいる	0.4%
就職も、自営もしたことがない	35.7%
●就職時期	
プラザでの支援対象期間中	50.3%
支援対象期間後1ヶ月未満	19.0%
支援対象期間後1ヶ月以上2ヶ月未満	10.5%
支援対象期間後2ヶ月以上3ヶ月まで	20.3%
●雇用形態	
正規の社員・職員	40.6%
パート、嘱託、契約社員、準社員等	32.3%
登録型派遣社員で就職	7.1%
常用型派遣社員で就職	18.7%
トライアル雇用中	1.3%
●雇用期間	
雇用期間の定めがない。	63.6%
雇用期間の定めがある。	36.4%
●就職経路	
公共職業安定所の紹介による。	29.7%
キャリア交流プラザの紹介による。	9.0%
民間職業紹介事業者の紹介による。	14.8%
新聞・広告・情報誌の求人広告による。	29.7%
縁故による。	4.5%
その他	12.3%
●現在の賃金水準	
3割以上増加	9.5%
1割以上3割未満増加	23.0%
1割未満の増加	7.9%
変わらない	18.3%
1割未満の減少	11.9%
1割以上3割未満減少	18.3%
3割以上減少	11.1%
●現在の雇用形態等、賃金その他の満足度	
大いに満足	12.3%
どちらかと言えば満足	36.2%
どちらとも言えない	26.9%
どちらかと言えば不満	16.9%
大いに不満	7.7%
●「就職も、自営もしたことがない。」者にかかる求職活動の状況	
求職活動中である。	74.7%
求職活動中ではない。	25.3%

●プラザで受けたサービスの満足度	
大いに満足	25.2%
どちらかと言えば満足	43.8%
どちらとも言えない	19.9%
どちらかと言えば不満	9.7%
大いに不満	1.3%
●プラザで受けた各種支援サービスについて	
(1)求職活動の心構え、履歴書・職務経歴書の書き方、面接の受け方等求職方法のノウハウについてのセミナー、ガイダンス	
十分だった	85.9%
不十分だった	7.1%
受けなかった	7.1%
(2)パソコン講習	
十分だった	14.9%
不十分だった	8.1%
受けなかった	77.0%
(3) (1)及び(2)以外の基礎的な職業能力を身に付けるための研修	
十分だった	33.1%
不十分だった	6.8%
受けなかった	60.2%
(4)経験交流	
十分だった	19.9%
不十分だった	4.2%
受けなかった	75.8%
(5)個人ごとにマンツーマンで行うキャリアコンサルティング	
十分だった	69.6%
不十分だった	13.9%
受けなかった	16.5%
(6)プラザで行う職業紹介	
十分だった	26.7%
不十分だった	15.7%
受けなかった	57.6%

## 若年者版キャリア交流プラザ事業 採用事業所アンケート調査結果（確定値）

## 質問事項

<b>●採用決定理由</b>	
過去の職務経験	22.9%
仕事に対する意欲	42.9%
資格	11.4%
コミュニケーション能力の高さ	17.1%
協調性の高さ	2.9%
その他	2.9%
<b>●他の経路での中途採用に比べ、高く評価された点</b>	
自己の適性、能力の把握とそれに適合した職業選択	14.3%
職業経験の蓄積に適合した職業選択	14.3%
貴社の仕事についての理解度	11.4%
仕事の内容に対する意欲の高さ	31.4%
仕事や働くことに関する目的意識の明確さ	31.4%
将来に向けての的確な職業生活の設計	2.9%
就職活動への積極的な取組姿勢	28.6%
面接時における質問への的確な対応	28.6%
その他	2.9%
特になし	17.1%
<b>●定着状況</b>	
定着している	82.4%
既に離職した	17.6%
<b>◆採用者の性別</b>	
男	37.1%
女	62.9%
<b>◆採用事業所の業種</b>	
農林漁業	0.0%
鉱業	2.9%
建設業	2.9%
製造業	22.9%
電気・ガス・熱供給・水道業	0.0%
運輸・通信業	5.7%
卸売・小売業、飲食店	20.0%
金融・保険業	0.0%
不動産業	5.7%
サービス業	22.9%
公務・その他	17.1%
<b>◆企業規模(正社員数)</b>	
30人未満	42.9%
30～100人未満	17.1%
100～300人未満	22.9%
300～1000人未満	8.6%
1000以上	8.6%